

東部療育通信-2023年8月号-

入所と地域の障害児(者)の生活を支援するメールマガジン

発行東京都立東部療育センター<http://www.tobu-ryoiku.jp/>

日頃より東部療育センターのメールマガジンをお読みいただき誠にありがとうございます。
ございます。

今回のメールマガジンは、「重症心身障害児(者)の栄養課題」についてご紹介します。

重症心身障害児(者)の栄養課題について

今回は、「顕在化する栄養不足」と、センターの取り組みをご紹介します。

近年、L-カルニチンやセレン、ビタミンKおよび不飽和脂肪酸の不足で、それぞれ痙攣、心筋機能低下、骨脆弱化やアレルギー症状の亢進としての気道過敏性等の合併症が増加したと報告されています。

特に、L-カルニチンやセレン、ビタミンKの不足は長期間の栄養剤使用を余儀なくされる重症児(者)にとって究極の課題となっています。

さらに慢性炎症や呼吸症状の悪化など、消化吸收を阻害する要因も多数存在します。

そこで、当センターでの取り組みや在宅で生活されている重症心身障害児者の方にも有効と思われる方法をご紹介します。

1.摂食機能について、摂食ラウンドで評価し、多職種で以下のような方法を検討しています。

現状を評価して、安全な食物形態や食事量、利用者の嚥下機能に見合った姿勢や介助方法などの検討をします。食事環境を検討するには、主治医・摂食嚥下認定看護師・看護師・支援科職員・歯科医師・歯科衛生士・作業療法士・言語聴覚士・管理栄養士などの多職種の連携が大切です。

2.栄養補助食品の利用や栄養剤を併用する

重症児(者)は「元来の食事摂取量が少ない、加齢などの理由で食事摂取量が減少した、アレルギーや基礎疾患があり経管栄養剤の種類が変えられない」などの理由で、タンパク質、亜鉛、L-カルニチン、セレンなどの摂取量が少なくなりがちです。現在の栄養摂取量の確認を行い、摂る時間や量、形態（液体またはゼリー）を考慮して補充します。在宅でお過ごしの方は、ドラッグストアなどで手軽に購入できる補助食品「INゼリーやスポーツ系の補助食品、市販のサプリメントやメイバランス®などの栄養補助食品」が利用できます。

近年、多くの食材系経管栄養剤の成分が改定されています。特にL-カルニチンを含む栄養剤は多数みられるようになりました。少量で多くの亜鉛やセレンなどの栄

養素を含む製品もあります。これらを組み入れることで効率的な栄養補給も可能となります。

センターで現在使用している製品は次のとおりです。

- タンパク質補充：プロテインパウダー（経口者、経管者）
- L-カルニチン補充：テゾン®（経口者、経管者）
- ビタミンD：ブイクレス®（経口者、経管者）、リハたいむゼリー®（経口者のみ）
- 亜鉛、セレンの補充：テゾン®（経口者、経管者）、ブイクレス®（経口者、経管者）
- 亜鉛、セレンなどに加えてエネルギーの補充：400kcal/200ml/本と少量高エネルギーのコンクエコ®（経口者のみ）

但し、これら栄養補助食品は主に成人向けに作られているため、幼児は半量/日程度とし、過剰摂取を避ける配慮が必要です。血清検査値が極端に低い場合は食品ではなく、薬剤を使用した方が効果的です。

3.食物注入を併用する

ヒトは「食物由来の栄養により生理活性が向上する」力を有しています。経管栄養者においては、ミキサー食を併用することで「経管栄養剤のみと比べ自身の消化吸収力が高まり、腸内細菌叢が改善し便性の改善や免疫活性力が高まる」という報告が多くあります。経口からの食事量が低下した場合や単一の経管栄養剤使用に困難が生じた場合には食物注入のお試しをお勧めします。

特別に作るのではなく、家族の食事と同じ料理で構いません。おかずに合わせたスープやだし汁、ご飯、豆腐などをミキサーで混ぜ合わせると、薄味にならず増粘剤を使用しなくとも適度なとろみがつきます。

味を感じるには「味覚」のみならず「嗅覚」も重要であるため「香り」も意識して、少量の単品料理から食物注入を始めます。濃度設定については、注入可能な濃度に適宜調整を行います。但し、食物注入を開始すると栄養剤に比べ消化吸収に要する消費エネルギー量が高くなり、かえって体重が減少する場合があるので注意が必要です。

重症児(者)の栄養課題は、各個人やそのライフサイクルごとに変化します。

呼吸管理、筋緊張、感染対策など日常生活の中で何を優先するのか、主治医や介護スタッフと共に定期評価をしながら、毎日の生活を楽しまたいものです。

以上(文責：栄養科)

今回のメールマガジンはいかがでしたでしょうか？

ご意見・ご要望等ございましたら、遠慮なくお寄せください。

| I | N | D | E | X |

1：施設概要のページへ

→<http://www.tobu-ryoiku.jp/outline/>

2：ご利用案内のページへ

→<http://www.tobu-ryoiku.jp/guide/>

3：施設開放サービス

→http://www.tobu-ryoiku.jp/service/opening_service.html

4：栄養科（摂食・栄養指導）

→<http://www.tobu-ryoiku.jp/guide/department/mealguidance.php>

| 施設概要

●東京都立東部療育センターは、重症心身障害児(者)の医療と療育を総合的に行う施設です。

●少子化が進行する中であっても、心身障害児(者)は減少しておらず、また、障害の程度は重度・重症化しています。更には、家族が高齢となったため家族介護が困難で施設入所を希望している方も増えています。

●一方で、できる限り住みなれた地域で在宅の療育を望んでいる障害者や家族の方達は多く、その支援の充実を図ることが一層必要となっています。このような状況に対応するため、重症心身障害児(者)施設が整備されていなかった区東部地区に設置することにしました。

→<http://www.tobu-ryoiku.jp/outline/>

◆このメールはmsw_trc@mtrc.jp のアドレスより配信しております。

◆送信アドレスは配信専用です。お問合せやお手続きは下記よりお願いします。

東部療育通信

発行：東京都立東部療育センター<http://www.tobu-ryoiku.jp/>

個人情報保護方針：<http://www.tobu-ryoiku.jp/privacypolicy.html>

問合せ先：<https://www.tobu-ryoiku.jp/inquiry.html>

〒136-0075 東京都江東区新砂3-3-25

TEL 03-5632-8070 / FAX 03-5632-8071

E-mail msw_trc@mtrc.jp

●配信がご不要の方は、下記URL にアクセスして下さい

<https://www5.webcas.net/gs/p/delete-user>

Copyright (C) TOBU RYOIKU CENTER. All Rights Reserved.